

令和7年度 母子保健指導者養成研修  
妊産婦及びその家族に対する支援に関する研修



# 乳幼児健診デジタル化 の取り組み

---

青森県むつ市



こどもみらい部子育て支援課

---

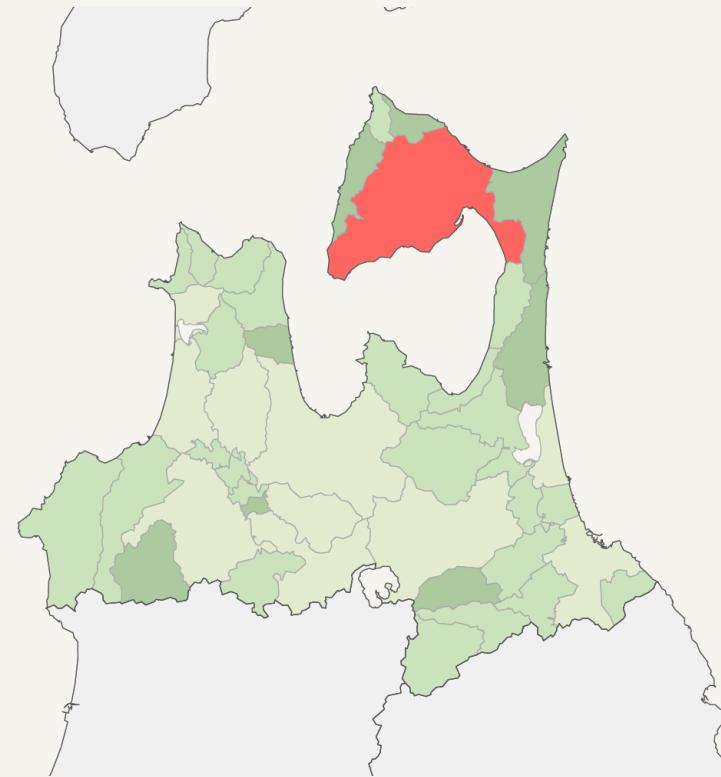
# 目次

---

- 01 背景と課題
- 02 実施に向けて
- 03 実施状況
- 04 健診の流れ（全体像）
- 05 各ブースの取り組み
- 06 スタッフ視点での効果
- 07 住民視点での効果
- 08 まとめ

### 少子高齢化社会における マンパワー不足

子どもの数と職員数がともに減少する中、業務効率化を目的にPMH実証事業へ参加。



人口：51,606人 (R7.1.1現在)  
出生数：202人 (R6)

## 背景と課題

---



紙の問診票による管理の不便さ

1枚の紙で管理するため、問診の内容や結果の共有がしづらい



結果入力に数日を要し、効率が悪い

健診終了後、結果情報を健康管理システムに数日かけて手入力している



住民側の手間や管理のしづらさ

紙の問診票の管理、筆記用具での記入に不便さ

# 実施に向けて

---

01

医師の協力と理解

健診時に従事する各  
医師への説明

02

マスタ登録

自治体ごとに定めてい  
る問診項目や健診項目  
を登録

03

テスト環境で確認

登録したマスタに相  
違がないか、実際に  
アプリ上で確認。操  
作感も確認

上記ステップ完了後、職員のこどもを対象としたプレ健診を実施。運用上の問題点等  
を洗い出し、R 6年6月より本格的にスタート

## 実施状況

---

### R6年度実績

健診種別	受診者数	デジタル	割合
10か月児健診 (6月～3月)	111件	27件	24.3%
1歳6か月児健診 (2月～3月)	38件	10件	26.3%
2歳児健診 (2月～3月)	39件	20件	51.3%

### 非デジタル健診受診者へのアンケート

マイナンバーカードを持っていなかったから	71.1%
デジタル健診を知らなかったから	13.2%
デジタル健診のメリットを感じなかったから	10.5%
その他	5.2%

# 健診の流れ（全体像）

---

01

## 対象者登録

対象者情報を健康管理  
システムからPMHへ  
連携

02

## 勧奨通知

健診時期が近づくと  
マイナポータルから  
勧奨通知

03

## 問診票入力

当日までに保護者が  
マイナポータルで  
問診票入力

04

## 健診実施

専用端末に健診結果  
等を登録

05

## 結果確認

健診終了後、本人の  
マイナポータルに結  
果を表示

06

## システム連携

結果情報をPMHから  
健康管理システムへ  
連携

## 各ブースの取り組み

---



### ①受付

保護者が母子健康手帳と子どものマイナンバーカードを提出。  
専用端末でカードを読み取り、当日の受付番号を付与。



専用端末にマイナンバーカードをかざすことで問診票データが閲覧可能

## 各ブースの取り組み

---



### ②問診

保健師がタブレットで問診票を確認。詳細を聞き取り、修正や追加情報を入力。

- ✓ 標準の選択肢以外が選択されている場合はアラート表示
- ✓ 医師への伝達事項をコメントとして入力
- ✓ 保健師間で共有したい内容はメモ機能で伝達

## 各ブースの取り組み

---



### ③身体計測

身長、体重、頭囲の数値を入力。

- ✓ 各数値を入力することで成長曲線を即時に表示
- ✓ 基準値外の場合、アラート表示



### ④小児科診察

医師、保健師に端末を配置。  
問診票・計測値をもとに診察・所見を入力。

- ✓ アラート表示されているところは重点的に確認
- ✓ 自治体が事前に設定する閲覧限定フラグにより、保護者へ非表示にしたい項目も入力可能

## 各ブースの取り組み

---



### ⑤事後指導

タブレットで健診結果を確認。  
必要に応じて指導事項を伝達。

- ✓ アラート表示されているところは重点的に確認
- ✓ 自治体が事前に設定する閲覧限定フラグにより、保護者へ非表示にしたい項目も入力可能

## 各ブースの取り組み

---



### ⑥カンファレンス

健診終了後、職員間で結果を確認し共有。タブレット操作でPMHへのデータ送信を行い、健康管理システムに反映。

- ✓ 問診、事後指導を担当したユーザーごとの表示が可能
- ✓ 結果確認後、即時でPMH送信

## スタッフ視点での効果

---



### メリット

運用を開始したことで様々なメ  
リット

- ✓ 問診票の共有

- ✓ アラート表示

- ✓ 自序システムへの連携



### 課題

運用する上で遭遇した課題

- ✓ 紙との併用による煩雑さ

- ✓ デジタル受診の普及

- ✓ 現場でのアプリ運用の工夫

## 住民視点での効果

---



### メリット

デジタル受診者からは肯定的な意見が多い

- ✓ 操作が手軽

- ✓ 事前準備の負担が軽減

- ✓ 持参物の削減、紛失防止



### 課題

デジタル受診者から要望のあった課題

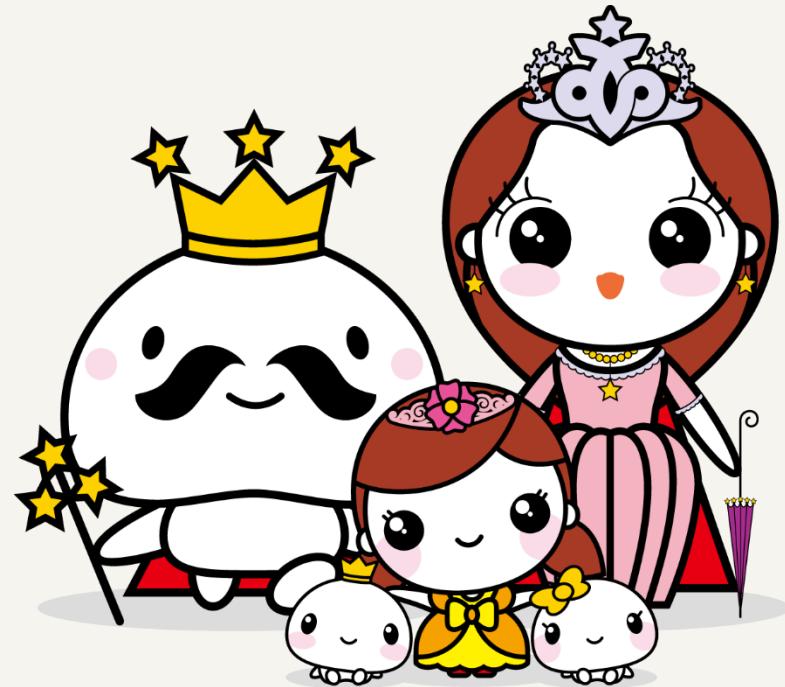
- ✓ ログインの手間

## まとめ

---

健診の効率化と住民の利便性向上を実現

今回の取り組みで、健診の効率化と住民の利便性が向上しました。今後さらにデジタルを普及させ、運用の改善を進めていきます。



ご視聴ありがとうございました。



世界夜景遺産 釜臥山展望台「光のアゲハチョウ」